

---

# みいとkaa

TS

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

みいとがぁ

### 【Nコード】

N7170E

### 【作者名】

TS

### 【あらすじ】

なかよしなくみい>とくかぁ>のかいわしゅう。おちなし。やまなし。いみなし。完結済み。

みいとかあ そのいち

このお話は少し情けないけれど明るい少年「かあ」と  
なかなか素直になれない少女「みい」の会話を綴ったものです。

お話は引越してきた少年が少女に挨拶に行くことから始まりま  
す。

基本的にやまなし。おちなし。いみなし。の会話のみです。

それでは皆様「ゆっくり、どづぞ。

・みいとかあ

「どづも。おとなりの とおの かずきです」

「どづも。おとなりの ふるや みかです」

「……………」

「「じゃあ」

「「みい」「かあ」

「「だね」

・みいとかあ  
に

「みいと」「かあ」

「みい」「とかあ」

「「みいとかあ」

「みいとかあってなに？」

「……みかんのなかま」

・ふたりは

「みい」「と、かあ」

「「ふたりは」

「ぶきゅあ」「なかよし」

「「……」

「「じえねれーしょんぎゃつぶ」

・ふたりは に

「かあ」「と」「みい」

「ふたりは」

「なかよし」「なかよくない」

「えっ」

「……なかよし」

・  
どんなもんじゃーい

「どんなもんじゃーい」

「こんなもんじゃーい」

「そんなもんかーい」

・  
ねこ

「みーみー」

「よんだ？」

「ねこだよ」

「みいみい」

「ねこねこ？」

「ほくほく」

・からす

「かーかー」

「からすでしょ？」

「わたし」

・たいみんぐ

「「「ねえ」

「「「なに？」

「「「……」

「「「あの……」

「「「ぎんぎん、ぎんぎん」

・たいみんぐ  
に

「「「ねえ」

「「「なに？」

「「「……」

「あゝ。」「ユウキョウ」

「「ぬわー」」

・あつちむらして

「あつちむらして」

「ほら」

「さがつちめ」

・おおのいじりじ

「おのいじりめ、よくきたな」

「いねはいいところだよ」

「ユウキョウ」

・おのいじりじ

「まあいい、まあいい」

「ユウキョウ」

「いたい、いたい」

・おはへいっしんじい

「おんじいちゃん、おんじいちゃん」

「「……………」」

「いめんねん、いめんねん」

・おんじいちゃんじい

「ま、まおつめーたお」……………」

「た、たおして」……………」

「……………おじいちゃん」

・おつめーちんちん

「おつめーちんちん」

「……………」

「おつめーちんちん」

「お……………」



・あいとゆづき

「あいとゆづきだけが」

「ととまだちや」

「……」

「みいと、かあも」

「ととまだちや」

・ねむい

「ねむい」

「ねむい？」

「ねむい」

「ねむい？」

「……」

「ねた？」

「ねた」



みいとかがあ そのに

・しってる

「みい、あれなにかしってる?」

「しってる」

「なに?」

「……おしえない」

「ほんとはしらないんじゃない?」

「……」

「かかし」

・しってる  
に

「みい、あれなにかしってる?」

「しらない」

「じゃあおしえてあ」「じゃあおしえてあ」「じゃあおしえてあ」

「……」

「……ちゅうちゅうちゅうちゅう」

・おいしい？

「みい、それおいしい？」

「おいしくない」

「じゃあ、なんでたべるの？」

「このあと、ぷりんをたべる」

「？」

「もっとおいしくなる」

「なるほど」

・おいしい？ に

「みい、それおいしい？」

「おいしい」

「ひとくち」「だめ」

「ひ」「だめ」

「……」

「……あーん」

・おいしい？ さん

「かぁ……それおいしい？」

「うん」

「ふーん」

「あーん」

「……」

「じょ、じょうだ」「あー」

「えっ」

「……ふん」

・はなみ

「みい、それはなみ？」

「うんはなみ」

「あぶないよ？」

「大丈夫」

「でも」

「大丈夫」

「……で「大丈夫……」

「……」

・はさみに

「……ねえ」

「……なに」

「……」

「……かあ、ごめん」

「……おこってないよ」

「……ありがとう」

・ひゃっほーい

「ひゃっほーい」

「……」

「ひゃっほーい」

「……」

「……」

「ひゃほーい……」

「うん、うん」

・ぼりえんかびふえにる

「……ぼりくろるびふえにる」

「なにそれ？」

「……ぼりえんかびふえにる」

「びーしーびー？」

「!？」

・かわいい

「あ、ねてる」

「すーすー」

「……かわいい」

「……すうすう」

「じー」

「す、すう」

「おきてる？」

「……」

「みい、おきてる」

「……なに」

「かわいい」

「……！……ばか」

・  
「かっ、いい」

「……ねてる」

「くーくー」



「……なんでもかんの」

「となりいい？」

「うん」

「おひるね？」

・  
おひるね

「！ばか」

「しってる」

「……ばか」

「ぐーぐー」

「かぁ、おきて」

「ぐーぐー」

「……かっ！いい」

「ぐーぐー」

「かわいい」

「やだった？」

「……」

「となりでねるね」

「……」

・おほほ

「ぐーぐー」

「すーすー」

「ぐーぐー」

「すーすー」

「ぐーぐー……んっ」「すーすー……んっ」

「……」

「おほほ……」

みいとがぁ そのさん

・あめ

「ちゅね」

「じゅん」

「知らないおじさんにあめもらった」

「よかったね」

「でも」

「？」

「……」

「………こわかった？」

「………じゅん」

・あめに

「みい、あめあげる」

「じゅん」

「はい、あげたー」

「……」

「あ、あげたー」

「よしせ」

「……はい」

・あめさん

「みいみい」

「なに」

「あめはあめえ」

「ちっ」

「……」

・あめ

「みい、あめだよ」

「よしせ」

「あ、えっと」

「……？」

「あの……その、その」

「……？ ……！？」

「う、うめん」

・もえ

「もえってしってる？」

「なにそれ」

「おにいちゃんがみいはもえだって」

「……みいはもえじゃない」

「みいはみいだよね」

「……うん」

・ひーろーじっじ

「ぐははは、ぜんぶたべてやるぞー」

「までーい」

「だれだ！」

「ひーろーさんじょう！..」

「でたなーどどめぴんくー..」

「えっ」「どどめぴんく」

「.....どどめぴんくさんじょう」

・ひーろー「うっ」に

「ぐははは、ぜんぶすててやるぞー」

「までーい」

「だれだ！」

「そこまでだーかいじんどどめぴんくー..」

「でたなーどどめぴんくー..」

「「.....」」

「みいはぴんくがいい？」

「……ひと」

・ひろー「うー」

「みい、どうしたの？」

「……つかれた」

「だいじょうぶぶ？」

「……うん」

「……ほんとは？」

「……うん」

・あさくさ「うん」

「かえるびよびよ」

「あー」

「あわてびよびよ」

「あー」

「……あーか？」

「……せん」

・はやくちじよび に

「よしきよしよしきよかきよく」

「よしよしよしよかきよ」

「……」

「……いみほ〜」

「えっ」

「……ふんっ」

・はやくちじよび せん

「あおまきがみ、あかまきがみ、きまきがみ」

「あおまきがみ、あかまきがみ、きまきがみ」

「よごよご」

「……しぬれこ」

「よごよご」



「……」

・  
はなうた

「ふんぶん」

「……」

「ふんぶんぶんぶん」

「……」

「ふんぶん……!？」

「あ、えっと……その」

「わすねる」

「じょ、じょ、じょ……だっ」

「わすねます」

「むじ……」

みいとがぁ そのよん

・あっちむいてほい

「「じゃんけん」「

「「ぽん」「

「あっちむいて

「……」

「……ほい

「じゃんけ」「……ほい

「じゃん」「……ほい

「……はい

・あっちむいてほい  
に

「あっちむいて

「いせ」

「……」「……」「あっちむいて

「……せ」

・でんせいの……

「しいこてにいれた……」

「いぢぢまぢぢへ」

「「でんせいの……」」

・でんせいの…… じ

「たびのおともじ……」

「ねむれないあなたじ……」

「「でんせいの……」」

・でんせいの…… ちん

「ちすがでんせいの……」

「すいごいぢがでんせいの……」

「「でんせいの……」」

「「……」」

「「でんせいの……」」

・あそぼし

「みい、一緒にあそぼしっ。」

「いせ」

「でも、たのし」「いせ」

「ぶじつてもっ。」

「「……いせ」」

・あそぼし

「かあ……あそぼ」

「いせっ。」

「いせ」

「じせ、あそぼいせいじつっ。」

「「……」」

「みい？」

「……ふたりがいい」

・うらやう

「うらやう」

「ん・う」

「んーん」

「んちやどーん」

「んのあーん」

「んいす・きやろん」

「んーん」

「んーや・あるびらーん」

「おぬしやるな」

「……そちもな」

・うらやう  
に

「るーふえんじやうす」

「……す……するがわん……あ」

「あ……ぼくのかちだね」

「……」

「ねえ……まだつづけよう?」

「……うん」

「んじゃめな」

「! ……なしよなる」

・ぼいずん

「いいたいこともいえないこんなよのなかじゃ」

「……ぼいずん?」

「!..?」

・ねえ、ちゃんとおふるはいつた?

「……ねえ、ちゃんとおふるはいつた?」

「うん」

「……おねちゃんいないでしょ」

「おとなりのおねえちゃんだよ」

「……」

「いたただ、うそです、うそです」

・えと

「ねえ」

「うし」

「..っ」

「うー」

「たつ」

「「!」」

・えと  
に

「しゅゅしゅしゅ……」

「……」

「……もーもー」

「……」

「……がお……！？」

「……か、かあかあ」

「……いつからみてた」

「……かわいかったよ」

「……がおー」



みいとかあ そのい」

・いだすら

「こへう」 「あ」 「う」

「うへうう」

「……」

「あめい」

「……う」

・いだすら

「へう」 「あ」 「う」

「……」

「……」

「……う」

「……う」

「……」

「……」

「わ、わーほくのまけだー」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「みい、あの……えい」

「……」

「……うい」

「……」

「わ、わらうじかぢぢあうぶうぶ」

「？」

「あはははう… あはははう」

「……」

「あははは…あはは…は」

「……ふふう」

「！ ……えくく…うめんね」

「……うん」

・しんでねらうう」

「……くっついてくね」

「……」

「……かあ」

「……」

「もつかえる」

「……」

「……」

・しんでねらうつに

「……うまぶら」

「……おじおま」

「……」

「かほちや」

「……」

「ほくほおじ」

「……わたしはしんでねら」

・しんでねらうじいさん

「……かあ」

「このくつをはいてください」

「……」

「ぴったりです。あなたがかあですね」

「……はい、おじいさま」

・しよじい

「かあ……あそぼ」

「あつ、めん。む」なんて？」

「しよじいにいっくら……」

「……おみやげ」

「う、うんかってくる」

・しよじい かあ

「わぁ、すごいだてもの」

「うみはたのしいなー」

「じはんがたくさんだ〜」

「……………」

「みいもいたらいいのになぁ……………」

・じゅじゅ　　みこ

「……………ほんよも」

「……………てねびみよ」

「……………ねよ」

「……………」

「……………つまんない」

・じゅじゅ　　こ

「みーみー」

「… ……ねじゅんか」

「かーかー」

「……からすでじょ」

「……」

「……かあ」

「っ………かあ」

「よんだ？」

「！」

「……ただいま」

「……おみやげは？」

「ぼく。……なんちゃって」

「……それでいい」

「……ええええええ！」

「……かあ………あそぼ」

「……うん、あそぼじ」





みいとかあ であい(前書き)

この話は「みいとかあ そのいち」の会話・みいとかあを二人の視点で書いたものです。

これまでとは違い、会話のみではないのでお気を付け下さい。

## みいとかあ　　であい

このお話は、少し情けないけれど明るい少年「かあ」と  
なかなか素直になれない少女「みい」との初めの出会いの物語。

ぼくのなまえは、とおの　かずき。ここには、きょうつひつこつて  
きたんだ。

そんなぼくは、いまおとなりさんちの、どあのまえにいる。

おかさんもおとうさんも、いそがしそうだったから

ひとりで、きたんだ。

でも、どあがあかない。

しかたないから、にわのほうにいつてみる。

そこにはおんなのこがいた。とつてもかわいらしい。

ぼくがずっとみていると、おんなのこがこつちにきづいた

へんにおもわれるといやだから、あいさつをした

「どづも、おとなりのとおの かずきです」

すこしきんちょうしたけど、うまくいえた。

「どづも、おとなりの ふるや みかです」

おんなのこが、かわいいこえであいさつする。

……どづしゅじゅ。

このこと、なかよくなりたい。

どうすればいいんだろう？

……なかがいいってことは、あだなだ。

みかちゃん？ みつちゃん？

どれもしっくりこない。

どづせなら、うんとかわいくよんであげたい。

……きめた。このこは

わたしのなまえは、ふるや みか。ここで、ひとりおるすばんを

している。

そんなわたしはいま、にわですわっている。

おかあさんは、でかけてるから

ひとりで、たいくつだった。

でも、いつもどおりのこと。

しかたないことだけど、すくさびしい。

とっせんおとこののがあらわれた。やさしそうない。

わたしがみていると、うれしそうにわらった。

「べっも、おとなりの とおの かずきです」

やわらかくて、あたたかいこえ。

「べっも、おとなりの ふるや みかです」

なぜか、これだけいうのにすいどきどきしました。

……じいじい。

なにかいわないと、かえっちゃうかもしれない。

もっとおはなししたい。

……なにかをはなすのには、なまえをよぶんだ。

かずきくん？かずくん？

なんだか、ちがう。

どうせなら、もっとしたしみをこめたい。

……きめた。きみは

「「じゃあ

「みい」「かあ

「「だね」「

みいとかあ であい（後書き）

「みいとかあ」は実験的に書き始めた作品ですので、今回の話も試験的なもので、これからこういった文章に変わるわけではありません。

一応こちらと別に、地の文のある小説を連載していますので、なるべくこちらは地の文無しで書こうと思っています。

もし、今回の文を読んで何か感想、意見が御座いましたら遠慮なく言っていただけと参考になりますので大変助かります。

長々とすいませんでした。「みいとかあ」を読んで下さった読者様、本当に有り難う御座います。

みいとかがあ　そのろく

・みーとすばげってー

「……………なにたべてるの?」

「みーとすばげってーだよ」

「……………わたしはたべてない」

「……………じゃあ、みいとたべようか」

・いたい

「……………いたい」

「どうしたの!?!?」

「……………はが」

「……………はいしゃせんじっか」

「……………ばか」

・いたい  
に

「みい」

「……」

「はいしゃちゃんねっ。」

「……だいじょうぶ」

「あいすたべてみて、はいっ」

「ん……っっ……！」

「……いこっか？」

「うん……」

・はいしゃちゃん

「……」

「……」

「……ないてる」

「……うん」

「……すげーっっえ」

「……うん」



「……かえる」

「うん、だめ」

・はいしゃさんに

「みい、よばれたよ」

「……」

「ぼくはここににいるから」

「……いつしよに」

「……いつか」

「うん」

・はいしゃさんさん

「あんまりいたくなかった」

「よかったね」

「……あいすたべよじっ」

「うん……っっ……」

「……ほらじゃねえ、さく？」

「……ふふい」

・いぬ

「……いぬだ」

「じわくない」

「……よしよし」

「ひゃー！」

「………じわくないもん」

・いぬ  
に

「あっ、いぬだ」

「いいじだね」

「よしよし」

「あー！」

「……わるい」は……おしおきだよ」

・いぬさん

「……いぬ」

「どうしたの？」

「……なんでもない」

「ふーん？よしよし」

「！ あぶない」

「あはは、だいじょうぶだよ」

「……わたしのときとちががっ」

・ねいちゃん

「……ねいちゃん」

「……おこむ」

「……」

「……むせつしゅ」

「……めしゅー」

「……ねんねん」

・ねんねん に

「ねんねんだ」

「……」

「おごび〜」

「……」

「おお〜、おごびご」

「……」

「……みい?」

「……おんご」

「みいもなでる?」

「……うん」

「あっ、にげた」

「……………ぐしにこもる」

・えいぷりるぷーる

「きょうは、えいぷりるぷーるだよ」

「……なにそれ」

「うそをつくひだよ」

「……かあ」

「ん？」

「……きらい」

「ぼくも」

「……う」

「う、うそだから！ ねっ！」

「……っばか」

みいと かあ そのなな

・おかあさん

「みいさん

「かあさん

「ぼくはおかあさんじゃないよ?」

「……かあちゃん

「それはちよつと

・ほらー

「かあ……これみよ

「……こわいやつ?」

「こわいのだめなの?」

「ぜんぜん。じゃあみよつか

「……」

・ほらー よん

「……むっ」

「なんでもー」

「!?!? ……なにっ」

「……あっ!」

「……どっが」

「こわかったねー」

・ほらー さん

「……みる」

「やめるっ?」

「……ひゃ」

「……」

「……ひっ」

・ほらー に

「そろそろかえるね」

「か……………」

「どうしたの？」

「……………なんでも」

「……………うちくるっ？」

「えっ!？」

「くるっ？」

「……………うん」

・おとまり

「ただいまー」

「……………おじやまします」

「みいがうちにとまりたいってね」

「……………」

「なんでって? ……」わ「ひまだからです」

「……………だってね」



「……そうなんです」

・おとまりに

「みい、ぴーまんたべなきや」

「かあにあげる」

「しよがないなあ」

「かわりにはんばーぐもらひつ」

「……いじめ？」

「……にんじんもあげる」

「……」

・おとまりさん

「みい、ちきにおぶらひはごめ。」

「ひい」

「ほぐとじつじやいほごめ。」

「……いせ」

「おぶろは、おばけがでやすいんだってね」

「……きょうは、はいらない」

「しそしそ」

「……かめきらい」

・おとまり よん

「みい、ねよっか」

「うん」

「みんなでねれば「わくなくないでしょ」？」

「う……もどから」わくない」

「ひとりでねる？」

「……いじわる」

「じめんね、ねよっか」

「……かめはひとりでねる」

・おとまり し

「……か、かあ」

「……ん……………なに」

「……」

「……？」

「……きして」

「……………あゝ、といね」「はちく」

「……はいはい」

・おとまりじろく

「……」

「……すうすう」

「……」

「……すう……………ん……………ねえ」

「なに？」

「……いつおきたの？」

「さんじゅっぶんまえ」

「……ずっとみてたの？」

「じはんができたからおこしにきたの」

「……そう」

「にじゅっぶんはみてたけどね」

「！？へんたいっ」

「かわいいから」

「……へんたい」

みいとがぁ そのはち

・おれそい

「みい、みい」

「なに」

「きょうはおまつりなんだよ」

「……で？」

「いじつか？」

「……うん」

「ゆかたきてね？」

「……もってない」

「ぼくんちにあるって」

「……」

「おれっ」

「……いっし」

・おれそいつ じ

「みい、よくきたね」

「……」

「ほくのじゅんぴはどきどきするよ」

「……」

「じゃあいつか」

「……」

「……みい？」

「……ゆかた」

「じゃ、じゃあまってるよ」

「……うん、まってる」

・おれそいつ かん

「……」

「……おまたせ」

「……！？」

「……どじしたの?」

「……あ、えっと……その」

「……もじい」

「……かわいいよ」

「……あじいいくぞ」

・おさそい よん

「そういえば、みい」

「なに」

「おかねは?」

「かあのおかあさん」

「くれたの?」

「さんぜんえん」

「……ぼくのせんぱい」

「……あ、あげる」

・おまつり

「みい、なにやりたい？」

「あれ」

「わなげ？」

「うん」

「じゃあやるっか？」

「うん」

「それっ」「……すじい」

「……えい」「ああおいしい」

「よつと」「……またはいつた」

「……たあ」「え、ええとあとちよつとだね」

「……はっ」「え、えつと」

「……」

「み、みいぼくのあげるよ……」

「……なぞけはいらぬ」



・おまつりに

「しゃ、しゃてきもおもしろかったね」

「……」

「み、みいもあとちょっとだった」……かあ

「は、はいっ」

「あれ」

「ちよこばなな？」

「……」

「か、かってまいります、おひめさま」

「……おこっていないのに」

・おまつりさん

「みい、あれやってみる？」

「きんぎょすくい？」

「とっ」

「……やってみる」

「……」

「あっ、ぼくのやぶねちゃった」

「……！とれた」

「わぁっ！…すっごくよみい！」

「……」

「どうしたの」

「……かえす」

「えっ、なんで？」

「……かわいそうだから」

「……みいはやさしいね」

「……かあも」

「え」

「ばねばね」

「……じゅっ、じゅっでも」

「んっ」

「みみみ、みいっ!?!」

「……」なぞ……ゆるゆるおぼろる」

みいと かあ さい」

・ふわ

「……………」

「かあ？」

「……………うわっ！？」

「！」

「みみみ、みい？」

「……………どうかしたの？」

「ななな、なんでも」

「かあ、へん」

「へえっ！？」

「……………まつりがおわってから」

「なんでもないからっ！」

「でも……………」

「あっ！ ようじがあっただ、じゃあね！」

「……………かあのばか」

・  
かあ

「……………はあ」

「みい、おこってるかなあ」

「でも、あんなことされたらなあ」

「……………どうしてあんなことしたんだろっ?」

「あんな……………」

「って、なにももいだしてるんだっ!」

「これじゃあへんたいだよ……………」

・  
みい

「……………ふう」

「かあ、おこってるのかな」

「わたしが、あんなことしたから」

「……………どうしてきづかないんだろっ」

「わたしの……」

「つつ、かあのばか！」

「……もう……じかんがないのに」

・  
かあ  
に

「……わからないなあ」

「あしたきいてみようかな……」

「……うん」

「……よしっ！ あしたきいてみよう」

・  
みい  
に

「あしたか……」

「かあにいわなくちゃ」

「これからのこと」

「あと……」

「わたしの……きもち」

・みいとかがあ

「かあ  
」

「あつ、みいはなしが  
」

「そのまえにわたしのはなしをきいて  
」

「えっ……う、うん  
」

「わたしねきょうひっくすの  
」

「ひっ……くす……?」

「とうきょうだつて  
」

「っ……そんな……どうして……!??」

「おかあさんのしごとだつて  
」

「な……んで、なんで  
」

「……」

「いままでいわなかったの?」

「……」

「しつてたらっ  
」

「おなじ」

「えっ？」

「しつててもどっしりもない」

「そんな……」

「かぁにはなにもできない」

「つつー？」

「わたし……にも……」

「みい……」

「だから、おまじなら」

「みい……」

「でも、そのまえに」

「……？」

「わたしのきもちをきいてほしい」

「……」



「わたしは……かあのが」

「まって！」

「！」

「……ねえ、みいとはもうあえないの？」

「……とおいからむじり」

「みいのいえのじゅうしょおしえてよ。そしたらてがみをか

「や

「……でも、ずっといっしょにいるわけじゃない」

「でんわもする。いっばいおはなししよう」

「でも……でもっ！ かあはいないっ！」

「いまはね」

「……え」

「ぼくがおおきくなったらみいのと一緒に行くよ。そしたらず  
っといっしょだよ」

「……っつ、そんなに……まてないよお」

「そのときにぼくはみいにきもちをつたえるよ。みいもそのと  
きを覚えて」

「いつしよにいないと、きもちがかわっちゃうかもしれないよ……」

「ぼくはかわらない。みいは？」

「……かわるわけがない！」

「ならだいじょうぶだよね。しばらくはてがみとでんわでがまんしてね」

「……かあのくせになまいきだあ」

「あはは……。……おかあさんがよんでるね」

「……まってて。……これがねんらくさきだから」

「うん、ぜったいでんわもするし、てがみもだすよ」

「うん、まってる」

「……」

「……」

「……」

「もう、いくね……」

「……うん」

「……じゃあね」

「みいつ、またね！」

「……またねっ、かあ！」

\*\*\*

「……またね、か」

「どつたの美香？」

「なんでもない」

「……すごく気になるんですけど」

「私の家、こっちだから」

「あっ、逃げた！ ……ふう ……またねえ〜美香」

「……うん、じゃあね」

「……」

「……またね、か」

「……ねえ、かあ……」

「私ね、引っ越してから一人でなんでも出来るようになったんだよ」

「料理も、掃除も洗濯もなんだって」

「友達だって、たくさんできた」

「……でも、でもね」

「わたしだめなんだ」

「なにをしてもだめなんだ」

「なにをしてもかかんがえちゃう」

「かあのこと」

「だって、かあが、いない」

「いない、いないんだよっ……かあっ……！」

「かあがないとわたし……わたしっ」

「……ねえ、かあ」

「……またって、いつ……?」

「いま、かな」

「!」

「遅くなってごめん」

「……か」

「でも、約束を果たしに来たよ」

「みい」

「かあ!」

これからは、ずっといっしょだよ

みいとかあ  
おわり

## あとがき

ここまで「みいとかあ」を読んで下さった皆様、有難う御座います。

これをもちまして「みいとかあ」のお話は終了となります。

これより以下の話は後書きのような裏話ですので興味のない、もしくは苦手な方はお気を付け下さい。

下にスクロールすると後書きがあります。

・この話について

この「みいとかあ」という話は最初は実験のようなつもりで始めました。

今まで小説というもの書いたことがなかった作者は、これとは別の「非日常は〜」（地の文のある話）という話を

初めに書き始めたんですが、会話文なしの主人公の独白も面白いかなど思って「白と黒の世界」を書き始めました。

その後に書き始めたのが「みいとかあ」なのですが、会話文だけというのは小説と呼んでいいのか疑問に思いました。

とりあえず、一話だけ投稿して消されたりしないかなと思ってたんですが、

どうやら消されていないところを見ると大丈夫そうですね。（管理者の方が気付いてないだけかもしれないませんが）

この話を書いていて困ったのは話が全然浮かんでこないことで



す。

多分、会話文だけで進めるには作者の発想力が足りなかったの  
でしょう。

途中で地の文らしきものを入れた話を投稿しましたが、  
あれ以上やると話の方向性が変わってしまったって、自分の目指し  
ていたものと違ってしまおうと考えました。

おそらく、だからだと続けていても基本パターンの焼き増しが  
延々と続くだけなので、

きりのいいところで終わらせようと思っただけで考えていました。

結果としてああいった終りになったのですが、読んで下さって  
いる方が満足のいく終りになっているかが心配です。

あと、自分でも読んでいてどっちがくみい>でどっちがくかあ  
>か分かりにくいなあと思いましたが、

なるべく分かるように書いているつもりなのですが、後で読み  
返すとやっぱり分かりにくいです。

本当にすいません…。

・くみい>とくかあ>について

みいとかあは二人とも幼い子供のイメージである程度書いてい  
て年齢は考えていませんでした。

大体幼稚園から小学校低学年ぐらいです。

初めはみいもかあもそんなに性格に違いがないという構想だっ  
たんですが、

それだと双子の姉妹話でもいいよなあと思って、男女の恋愛？  
風味の話にシフトしました。

<みい>は<かあ>と会う少し前に父親を亡くしています。

それ以前はとも明るく、人見知りしない女の子だったんですがそれ以降は、

母が仕事で忙しくなったのも合わさって内向的な性格になりました。

<かあ>と会うことで性格的には明るくなりましたが、<かあ>以外には心を開かなくなります。

<かあ>の存在が<みい>の中でかなり大きなウェイトを占めているため依存症になっています。

しかし、二人の別れによって<みい>も変わろうと決意しある程度人と接するようになります。

基本的に素直じゃない性格なので表に出しませんが<かあ>のことを常に考えています。

寝ても覚めても<かあ>のことを考えています。

<かあ>は一般家庭に生まれましたが精神年齢は同年代の比ではないくらい高いです。

普段は<みい>に合わせていますが、一人のときは色々と考えています。ただ鈍感です。

基本的にスペックが高いので大体のことをそつなくこなせます。故に<みい>と会うまではどこか達観した雰囲気を持つ子供でした。

中性的で綺麗な容姿は女性に人気がありますが<みい>以外に一切興味がありません。

<みい>には滅茶苦茶甘く、それ以外はそこそこ、敵対者には容赦しません。腹黒です。

・その後の話について

二人が再開するまでのお互いの話や、再開後の話も考えているんですが、

多分やるとしたら地の文ありのものになるので実際に書くかどうかは未定です。

・最後に

長々とした後書きまで読んで下さった読者様有難う御座います。  
この後は新しい連載を始めるか、今の連載中の話の更新になると思います。

そこでまたお会いできれば嬉しいです。

以上作者TSの後書きでした。

ありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7170e/>

---

みいとがぁ

2010年11月14日00時44分発行